

第3回 尾張北部環境組合公害防止準備委員会 議事録（要旨）

日時 令和5年2月21日（火）

午後2時～3時15分

場所 江南市消防庁舎3階 講堂

● 出席者等

出席者：14名 欠席者：4名

No	委員	役職等	欠席
1	相京 定男 委員	中般若区 区長	欠席
2	眞野 敏 委員	中般若区 副区長	
3	棕野 浩 委員	草井区 区長	
4	伊神 武司 委員	草井区 副区長	
5	石原 明 委員	般若区 区長	
6	白石 政孝 委員	般若区 副区長	
7	高木 幹雄 委員	小淵区 区長	
8	大竹 宏和 委員	小淵区 副区長	
9	福田 直行 委員	南山名区 区長	副委員長
10	小室 明正 委員	南山名区 副区長	
11	倉地 弘美 委員	山那区 区長	
12	三品 千晃 委員	山那区 副区長	欠席
13	林 進 委員	岐阜大学名誉教授	委員長
14	中村 達司 委員	犬山市経済環境部長	欠席
15	平野 勝庸 委員	江南市経済環境部長	
16	水野 眞澄 委員	大口町まちづくり部長	
17	村田 武司 委員	扶桑町産業建設部長	
18	相京 政樹 委員	江南市環境課長	欠席

傍聴者：0名

1 挨拶

2 議事

(1) 事業者の決定について

事務局より資料1を用いて説明

(委員)

技術点は技術者の方が委員会で評価をしたと思うが、価格点は入札価格の比率で出しているのでしょうか。

(局長)

3社の中で一番低い金額を満点の40点とし、それを基準として比率で出しました。

(委員)

落札金額が約330億円で、11月に視察に行った桑名広域清掃事業組合は230億円位であったと記憶しているので、価格的にかなり高いと思い、価格の開きが出るのかわからない。

もう一点、価格の妥当性の精査はしていますか。

(局長)

視察先と当組合のごみ処理場では条件も違うので一概に比較することはできないと考えています。金額については、資料の裏面に定量化限度額で312億円とありますが、この金額以下の入札は同じ点数にするようにし、ダンピング対策としています。金額の妥当性については、予定価格を下回っているので問題ないと考えます。

(委員)

ホームページで審査講評を見ると、予定価格が420億円と書かれているが、委員会資料には記載のない金額だが、どのような観点での金額ですか。

(局長)

予定価格の429億円は資料の入札書比較価格390億円の税込価格になります。
行政での入札は税抜価格で行われます。

入札書比較価格は、この金額より低い金額で入札しないといけない金額です。

(委員)

これは事前に公表されるものなのか。

(局長)

公表します。なのでこの金額を超えて応札する事業者は、ほとんどいないと考えます。

(委員)

わかりました、それにしてもすごい金額ですね、そういう物なのかもしれないけれども。

(局長)

そういう物ということで終わらせず、節減できるところは節減していきたいと考えています。

(委員)

先ほどのお尋ねと重なりますが、新ごみ処理施設と同じ規模ということで桑名の施設を指定して視察をさせていただいたと思っておりますが、焼却施設の容量が桑名の方が1割程少ない174 t/日ですが、マテリアルは桑名が55 t/5 hで尾張北部が14 t/5 h、自分の頭の中では尾張北部の方が安くなるのではと変な気持ちがあります。

(局長)

処理量は2市2町の現在の処理量から推計して、供用開始の令和10年に必要最小限の処理量として設定しています。手元に資料がありませんが、同じ施設でも何を処理対象とするにもよりますので、処理量が多いというのは尾張北部より処理対象としている以外のものも共同処理しているのではないかと思います。

(委員)

桑名は約10年前みたいなので、物価高騰もあると思うのである程度理解します。

(委員長)

基準価格は国によって年々改定され、地方の公共事業でも同じレベルで改定されるかというと、それぞれの事情がありますが、我々も何かするときには国の基準と比べてどうだとかチェックしています。それが高いか安いかの評価は分かれるところかと思いません。

(2) 施設概要について

事業者よりパワーポイントを用いて説明

(委員)

設計、建設をされる三菱が運用面も担当されるのか。

(局長)

三菱重工環境・化学エンジニアリングと重環オペレーションが出資をしてつくられた、尾張北部エコクリエイションが運営することになります。

(委員)

ここで運用に関する質問をしても回答は出てこないということですか。

(事業者)

大丈夫です。

(委員)

前回の視察先では、非常に厳しい管理規定を設けられて公害に係わるものの発生を抑えるとお話がありましたが、その時に示された法的規制値が桑名の時と今回の資料で違っていますが、厳しくなったということですか。

(局長)

建設するタイミングでの法律が適用されますので、違うということもありうるかと思
います。

SO_xのことでしょうか。

(委員)

はい。

(事業者)

法規制値は時と地域で数値が異なりますので、桑名のことは把握していませんが、一
概に日本全国同じという訳ではありません。

(委員)

わかりました。ただ、桑名では監視基準値がありましたが、今回は示されていないで
すね。

(事業者)

規制値としては省略していますが、停止基準と当社の掲げた運転基準の間に要監視基
準値がありまして、少し危ない水準というところで、ありとあらゆる手段を尽くして停
止基準を超えないようにするという基準を設けています。

(委員)

桑名ではそれが公表されていたので、お聞きしたかったのと、桑名でびっくりしたこ
とがありまして、一酸化炭素が監視基準値がありながら発生量が100ppmありまし
て、係の人に聞いたら、一酸化炭素は可変でもう少し様子を見てから対応しますと安直
な答えが返ってきたので、そんなことはなく要監視はシビアにやっていただけるのかと
いうことを確認したいです。

(事業者)

一酸化炭素は法規制値の100ppmは1時間ですが、30ppm、20ppmこちらは4時間ですが、厳しい値で監視していきます。

(委員)

お願いしたいのが、施設を見学に行くと監視モニターがあって、基準値を超えた値が表示されても対応がないと、驚きをもってしまう方がいると思うので、そのあたりを上手くやってほしいです。

それと、ばいじんが $\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ とありますが、Nはどういう意味ですか。

(事業者)

Nはノルマルと言いまして標準状態ということで、排ガスの体積は温度や圧力によって膨張したり圧縮されたりするので、基準の温度0度、1気圧に換算した体積になります。

(委員)

桑名では N m^3 と表記されてましたが同じことなのでしょうか。

(事業者)

はい、同じ単位です。昔の単位から表記方法が変わっています。

(委員)

先ほど聞くべき事だったかもしれませんが、金額が高いと話で、物価や人件費が高騰していますが、オリンピックでもあったように契約後に変更がありましたが、今後低コストで迅速にやれるような方法を考えながら協議していただいて、各市町の議会を通さないと契約の変更はできないとは思いますが、市民、町民の税金でつくるので安全第一ですが、安易な増額が無いように十分に協議して進めていただきたいと思います。

(委員)

建設地のすぐ東で新愛岐大橋の工事も始まるが、大きな工事が二か所でそれぞれ管理はされるかと思いますが、連携をもって工事を進めていただきたい。

(委員)

小淵でもう一つ大きな工があります。

(委員)

工事中の騒音と振動の自主規制値はいくつですか。

(事業者)

騒音で80db、振動で70dbです。

(委員)

規制値を超えそうになったら、どう対応されますか。

(事業者)

基本的に工事計画の中で、それを超えないように計画するのですが、状況によって数値を超えるような事があれば、超えないように対策を施します。

重機を使う場所で騒音シミュレーションをし、どれくらいの騒音値か当たりをつけていますが、超えた場合は発生源を移動させたり追加で施工したりと対応させていただきま

す。

(委員)

どれくらいの工事車両の増加を見越していますか。

(事業者)

プラント工事と建築工事で併せて計算をしまして、ピーク時の工事車両は分散させる予定です。

(委員)

それは1日何台で想定していますか。

(事業者)

具体的な台数については資料がありません。

(委員)

後から報告をお願いします。

あと、工事車両の出入口は県道の側道だけど、拡張はされるのか。

(事業者)

側道の拡張予定はございません、取付け道路を設置するイメージです。

(委員)

大きなトラックなんか入ってこれるか。

(事業者)

確かに狭いと思います。誘導員を配置したり、搬入をご迷惑にならない時間帯にずらしたりと、搬入に関しては着工時点とかで地元の方にご説明をしながら、ご相談をさせてもらうこともあるかと思います。

(委員)

問題が起こらないように、やっていただきたいと思います。

(事業者)

先ほどご質問のありました、工事車両の台数につきまして最も多い時期の想定は130台で、作業員の通勤車両が100台程度、工事車両が30台程度で計画しています。

(委員)

側道からの出入りは、犬山方面からの車が多いと並んでしまう、朝昼は抜け道、昼は地元の人の生活道路で大型車が曲がる事は、側道を拡げる等しないと到底無理だと思う。交通誘導員を付けても渋滞するだけです。

(事業者)

実際の車の台数の状況を確認させていただくと、敷地内への入り方等、ご迷惑にならない方法を施工計画を作る中で、組合等を含めて協議させていただきたいと思います。

(委員長)

交通量については用地選定委員会の時に、交通量調査の結果をバックデータとしてシミュレーションをして考えた事があります。その時にどの経路を辿れば渋滞を防げるか、地元の人や一般車両の妨害にならないかを検討したことがありますので、そのデータがあると思いますので、それを応用して皆さんが納得されるような説明資料にされると良いと思います。

(事業者)

交通データは生活環境影響評価で確認はしているのですが、実態は生活状況に応じて数値通りにいかない所もあると思うので、実態とデータを踏まえてご迷惑にならないように検討していきたいと考えています。

(委員長)

騒音や搬入路の対策を考えた事業者は知っていても、運転手は知らなかったという事は困るので十分に注意してください。

(委員)

なぜ造成工事を令和6年4月着手にしたのか。

(事業者)

建築工事着工後は敷地東側の本設乗り入れ路を使う計画ですが、別途工事の県道拡幅が造成期間中に完了していないので、その兼ね合いです。

(事業者)

最初に伐採伐根をするのですが、生活環境評価でホンドキツネの分散時期を外すという意味で7月8月を避ける事と、周辺道路を考慮していますが、実態を確認しながらどのタイミングでどのように入るかは調整が必要かと考えています。

(委員)

環境組合にお聞きしたいのですが、浸水リスクが扶桑町では浸水の状況が見直されましたが、小淵の一带は5 m以上で、自宅周辺の標高が3.8 mだが、施設の造成高が3.2.5 mです。計画では木曾川が氾濫したときの想定高が3.5 mになっています。見直しのかけられた数値は100年に1度の大洪水のような想定の数値と思いますが、昨年8月の木曾川の水位の上昇値は過去2番目で、新聞にも掲載されていました。これで本当に大丈夫でしょうか。

(局長)

当地域の浸水の予想点の最高は3 mから5 mと発表されたところで、事業者にはそれを踏まえた対策を講じた施設にさせていただくよう、主要電機設備を2階に設置するとかの工夫で浸水しても被害を最小限にしたいという所で、事業者にはデータを示したうえでの提案になっています。

(委員)

扶桑町では小淵から般若の一带が5 m以上になっていて、主電源が浸水域より上になると困ると思う。

(局長)

自然災害なので絶対とは言えないが、組合としては3 mから5 mとしています。

(委員)

それは100年に1度の大洪水の想定ですよ。

(局長)

1,000年に1度だったと思いますが、誤りがありましたら訂正します。

(委員)

だとすると扶桑町の5m以上というデータが間違っているのですか。

(局長)

扶桑町のデータが間違っているとは思えませんが。

(委員)

100年ではなく1,000年ですよ。

(委員)

要は計画が対応しているのかを確認したかった。

数年前に改定されてきて、我々も意識を持つというお知らせだった訳です。

(局長)

組合でも国交省の最新のデータを把握しながら要求水準を作ってきましたので、新しいデータがまた発表されるのかもしれませんが、今回のタイミングにおいては3mから5mで、扶桑町もそれで正しいとは思いますが。

(委員長)

当該施設でどのような事が想定されるかというのと、扶桑町内でどういう事態が想定されるか区分して考えていく必要があると思います。この施設にとって重要なのは、この場所で最高水位は何mなのか、平地なので水捌けの悪い所では浸水高が高くなる事があります。大きな地図で示すハザードマップと、場所で示す条件とで分けないといけません。計画地ではこれで十分だと納得していただけるように、バックデータを

そろえて説明されれば良いと思います。

私からも一つ、生物多様性について愛知県の生態系ネットワーク形成は協議会が各地に作られています、尾張北部と尾張西部の両方に係ります。尾張北部は犬山、小牧、春日井、瀬戸の幹事が犬山に置かれて、私の所の研究所が事務局をやっているのですが、大口、扶桑、江南は尾張西部生態系ネットワーク協議会でそれぞれテーマが違って、そこに協力するのならば、どのように協力するのだろうかと思になります。

それと、コリドー生物移動空間がどういう生物の移動空間になるのか、建設によって阻害するのか、プラスになるのか具体的なテーマを掲げた方がわかりやすいと思います。工場の緑地が生物移動空間にとってプラスになるように生態系ネットワーク形成をやっているのが知多半島の工場地帯です。身近な例だと、工場敷地内で地域の生物多様性に協力する事をやっているのは、村田機械の犬山工場、これは私の所に相談に来てアドバイスのしたのですが。総論的な言い方ではなくて具体的な取組みでテーマ設定された方がわかりやすいと思います。

それに係わって、公害関係や災害関係はいろんな基準でチェックされると思いますし、公害防止準備委員会から稼働すると公害防止委員会になって設置されると思いますが、生物の多様性とか提案の内容が掛かってこない事を、掲げられた提案がどのように実現されていくかを検証する仕組みも必要でないかと思います。例えば、住民参加型の緑づくりをどう検証するのか、公害防止にも掛からない、他にも掛からないという事がありますので、その辺を環境組合が担っていくのか考慮する必要があると思います。

掲げられたテーマはたくさんありますが、それが実現されているのか、実現するために必要な情報はどこが提供するのか、全部メーカーに任せきっていいのか。地域によっては非常に重要で、建設に係わる事業者にとっては、はっきり言ってどうでもいいとまでは言わないが、ある程度までやっておけば後は地元で対応してくださいと、場合によっては100年単位でいかざるを得ないテーマを建設事業体に委ねるのは酷だと思うので、きっかけづくりをやっていただいて、それをどのように検証していくのか、市役所か環境組合が担っていくとか考えて提案していただけたらと思います。

(事業者)

生態系のネットワークを作る際には、色々な形でご指導いただかないといけない所もありますので、随時アドバイスをいただきたいと思います。

今回の提案にあたっては色々な専門家に相談させていただいているのですが、地域の事情に関しては色々な形のネットワーク機構があるようでしたら、ご紹介いただけるようなら内容をつめていきたいと思います。

提案内容もアドバイスを受けながらの中で、既存の森林を残したり、新たに再生したり生態系をどのようにするかとアドバイスをいただいた形の緑地計画としていますが、もう少し生の声を聴かないといけないかなといった認識でいます。

また、実際に継続的にやれるかといった話になると、建設後の20年間の運営は、どうしても実態としては代表企業の弊社がメインに見ていく所もありますので、その中でモニタリングをしたり、運営に入ってから雇用だけではなく、地元の機関とか色々な形で参加、ご意見をいただく場を設けるような運営方針にしていますので、そういった中で忌憚のない意見をいただきながら、こういった所を改善した方が良い等のご意見があれば、そういったものを踏まえて自然を保持しながら焼却炉の運営ができるようにしていきたいように、色々なご指導をいただきたいと思います。

(委員長)

一つ魅力があるのは、民間企業の場合は自由に立ち入れないが、ここは自由に立ち入れるので環境学習にも活かす事ができますし、みなさんの協力を得ることもできます。河川の堤防に近く、堤防植生はおもしろいので、立地特性を活かして具体的な方策を提案事項の中に入れていただくと、ここの役割がわかりやすくなると思うのでお願いします。

尾張西部では、ほぼ絶滅していても尾張北部ではたくさんあるので、あげるから増やしたらといった活動もやっています。犬山は2市2町の中では一番生物の多様性が高い所なので、犬山市の環境施策等と連携して、折角2市2町なのでここだけでやろうとしないで、これだけ長い時間をかけてごみ処理施設を作っただけではないと、別の付加価値が付いてくるんだという事を示せると思います。

(事業者)

人数の関係でコンセプトを考えた担当が来ていないのですが、是非レクチャーしていただいて、実施の段階で反映させていただきたいと思います。

(委員長)

用地選定委員会の段階から、色んな点において迷惑施設では無いという事を言い続けてきたが、その考えがなかなか広がらなかった事も事実ですが、良い提案だと思います。より深めていってください。

3 その他

なし

委員長閉会あいさつ

これをもって、本日の公害防止準備委員会を閉会する。

(閉会)